

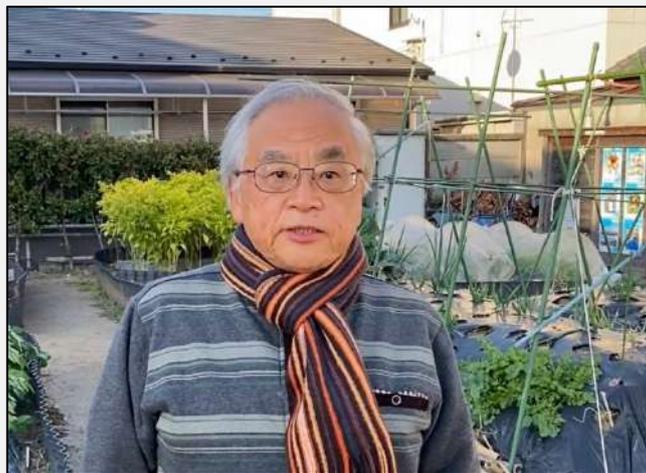


# たもんじ 2023年12月号 交流農園便り Vol.69



## シリーズ 業務連絡#23-04

## 今さら聞けない!? 菌ちゃん農法ってどんな農法?



このシリーズは主に農園会員さん向けに「業務連絡」的なものを、記事と画像(YouTube)の両方で発信してまいります。今回のYouTube動画 URL は、こちらです。  
<今さら聞けない!? 菌ちゃん農法ってどんな農法?>

<https://youtu.be/mxEEmNo6Lrq>

“菌ちゃん農法”とは、一言でいうと、無農薬/無肥料の自然農法です。たもんじ交流農園では、もともと無農薬栽培を行っていましたが、肥料も使わない農法を目指しており、そこで注目したのが“菌ちゃん農法”なのです。

“菌ちゃん”の“菌”とは、糸状菌/キノコ菌などで、この菌が、① 植物の根と共生し、栄養素の吸収を助け、② 菌の活動によって土が改良され、根が成長しやすい環境になり、そして、

③ 良い土になると野菜の害虫被害が減るのです(虫が来るのは腐敗した土で育った野菜だそうです)。これまでは捨てていた、木屑や竹チップ、ササやヨシなどの枯草を、「菌ちゃんのエサ」として、土の上に山積みにするので、菌ちゃん畝は、大きくなるのが特徴です。いちど畝を作ると何年も畝を崩さないで利用できるのも、④ 収穫後すぐに次の野菜を育てられます。その結果、⑤ 無農薬/無肥料で、⑥ 水撒きもほとんど必要のない、地球にやさしい農業なのです。

2023年の一月に菌ちゃん農法の普及につとめられている吉田先生に“たもんじ交流農園”にお出でいただき、皆で座学と実技指導を受けました。その時に指導を受けながら作った畝が、共用耕作地の菌ちゃん畝です。葉物野菜には適しているけど、水分を多量に必要とする茄子の栽培にはどうだろうかという不安もあったのですが、2023年夏、寺島なすが見事に実り、1,200個以上の寺島なすが収穫できました。来年は、共用耕作地はすべて、菌ちゃん畝にする計画です。皆さんも、農園でも、ご家庭のプランターでもできる、菌ちゃん農法で、元気で美味しい野菜作りに挑戦してみませんか！(小川剛記・撮影)



## うちの畑じまん 第35回 区画 12-2① 大松さん 山口さん



畑仕事を始めてから半年経ちました。やる気に溢れ、ミニトマト、じゃがいも、ネギ、小松菜、スイカ、かぼちゃと盛りだくさんの種と苗を用意しました。ハーブの畑にギリギリでしたが、水口先生にアドバイスをいただきながらなんとか植えることができました。初夏の畑はぐんぐんと水を吸い込み、水遣りに通うのも嬉しい日々でした。プチトマトが実ると端から子どもたちが食べてしまいます。採れたての青っぽい香りを楽しんでいました。

夏の畑で楽しかったのはスイカとかぼちゃの受粉、そして実りです。早朝に人の手で受粉しないと実がならない！と知ってから、子どもたちは争うように早起して畑へ向かいました。

その結果、かぼちゃが二つ、スイカが一つ、実がなりました。

ただ買った野菜を食べているだけでは得られない知識を体感しながら学べる、とてもよい機会でした。これからも子どもたちと一緒に土に触れながら季節、食を感じていきたいと思っています。





佐々木です。私は中小企業診断士という経営コンサルタントの資格を持ちながら、IT企業に勤める、俗にいう「企業内診断士」なのですが、最近コンサルタントとしてのお仕事も、所属する会社でもビジョン作りに没頭しています。ビジョンはざっくり言うと「ワクワクする夢」で

す。いつまでに、こんな風になっていたいなあ、という目標です。例えば、「夏までに10kg痩せたい」というビジョンがあるからこそ、そこに向かって1日1万歩歩く！ビールは1本まで！と頑張れるのです。農園も同じです。「初夏にみんなで芋ほりをする！」というビジョンがあるからこそ、冬に種芋を植えるのです。

昨年までの寺島なすブランディングで作り上げたビジョンは「『墨田区と言えば寺島なす』とだれもが言う」でした。地方創生★政策アイデアコンテスト応募プロジェクトでたてたビジョンは「『わが町すみだ』とだれもが思える粋な町」でした。ビジョンは作るだけでなく追い求めるものです。だからこそワクワクするような内容であることが重要です。会社の同僚とは侃々諤々の議論を繰り返していますが、農園でも和気あいあいとビジョンを紡いでいけたら、と願っております。



ワクワクした地方創生★政策アイデアコンテスト



たもんじ交流農園での畑作業はいつもワクワク

## 保育園の園児たちが農園でお芋掘りをやってみました!!



11/8(水)、押上のパンダ保育園の可愛い園児たちが、“たもんじ交流農園”にやってきて、土まみれになって「さつま芋」を掘りました!

「農園が出来るまでのお話」も、熱心に聞いてくれて嬉しかったです。畑の野菜や、コンポスト堆肥、“ほたるのすみか”も珍しそうに見てました!

園長さんによると「子どもたちはお家に帰ってからも、ご家庭で『お芋掘り』のお話しを興奮気味で説明していたようで、連絡帳に沢山書いてありました。」とありました。嬉しいなあ

また掘ったお芋はその日に“フライドさつま”にしておやつに! 園長さんたちの子供たちへの愛情が感じられますね。(牛久光次記、小川剛編集)



## 武蔵野大学「水環境についてのアクティビティ」開催!!



11/12(日)武蔵野大学環境システム学科の学生さん達による「水環境についてのアクティビティ」が開催されました。雨でしたが、水の循環がテーマだけによりリアルに感じる事ができました。

解説とクイズの後、参加者はそれぞれ「水」になって、川・地下水・土・雲・海・氷河・湖・植物・動物と、サイコロを振って駆け回り、その後、チームに分かれてそれぞれどのような「旅」(水の循環)をしてきたのかを発表し合いました。なかなか上手くできており、雲→海→植物→動物→川という流れに乗った方もいれば、氷河からなかなかでられない方、雲と海を繰り返す方と様々な「旅」が披露されました。そして雲→海、海→動物等が、

どんな現象を示すのかをメンバーのみんなで考えるのですが、動物→動物について、大半の方が”食べられた””食物連鎖”と推理したことに対し、主催の武蔵野大学の学生さんから、お子様の多い別のグループで開催したときに”私(お母さんから)生まれた”という回答があったことが報告され、皆、目からウロコを落とした次第です。(末林和之記)



# “とんどこ！巨大紙相撲～すみゆめ北斎場所に参加！！”



第1回戦は、大激戦。勝ちました！みんな大喜び！

12/3(日)13:30～17:00、「隅田川 森羅万象 墨に夢 とんどこ！巨大紙相撲～すみゆめ北斎場所～」が、すみだリバーサイドホール（墨田区役所2階）にて開催され、巨大紙相撲力士32体による激戦が繰り広げられました。

このイベントは、アートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」（通称すみゆめ）の一環で、2019年以来の4回開催されているイベントで、過去3回は行事として（小川が）参加させて頂いていましたが、今回初めて、てらたまチームとして、巨大力士“寺島茄子之介”（東向島部屋、旧寺島村出身）を引き連れ、参加することと致しました。目標は勿論、優勝です。

これに先立つ11/18(土)「巨大力士！制作ワークショップ」が開催され、段ボールを切ったり、塗ったり、貼ったりと、大人も

子供も無我夢中！着物のチェック柄、着物の上から回しを付けたりと、皆のすごいアイデアが次々と発揮され、2時間でいかにも強そうな、巨大力士“寺島茄子之介”が、誕生しました！



そして12/3(日)本番、寄せ太鼓に始まって、行司さん、審判員が采配し、元相撲取りさんの解説、弓取式もある、本当のお相撲に負けない熱気が、溢れている中、多くのてらたま/たもんじの仲間が応援に駆け付けて頂き、みんなで土俵をどんどこ叩いて応援しました。

我が、東向島部屋「寺島茄子之介」（旧寺島村出身）は、なんと第一回戦しょっぱなで“聖夜なるの”（東駒形部屋、フィンランド出身）を撃破！勢いをつけるも、残念ながら2回戦で敗退となりました。が、殊勲賞をいただきました。楽しかったなあ😊 来年は、優勝目指して、倍返しのリベンジだあ！（小川剛記）



てらたま・たもんじの仲間たち



“寺島茄子之介”の土俵入り！



皆さん、お疲れ様でした！



殊勲賞！いただきました。

## “てらたま農園部から”

## 第25回～ナチュラルガーデンづくり中間報告～



ます。これらはすべて農園会員さんのボランティア作業で行われました。

花壇は今後レイアウトを考えながら土を入れ、農園に植えられていた植物と、区役所環境保全課から提供いただく花苗を今年中に植え付ける予定ですが、花壇としての完成形は2～3年後を目指しています。

今年5月号の農園だよりに、「農園の花壇は植え替えの時間を減らすナチュラルガーデンを目指します、秋を楽しみに見守ってください」と書いたのですが、いまだ「工事中」状態です。とはいえ、花壇の横にはプランターなどで使用した土の集積所が完成、寺島なすの苗を育てるための踏み込み温床もほぼ出来上がって、目下踏み込み温床に入れる枯葉集めに精出しているところです。また通路側には、多聞寺さんから切ってきた青竹製の土留めができてい



# 温室つくりワークショップは順調に推移中



落ち葉による温床のための温室つくりワークショップは、温床の形が見えてきました。あとは屋根と、入り口扉をつければ、完成です。落ち葉を発酵させて、1月から苗床として使うには、12月半ばには完成させたい！ナチュラルガーデンもいい感じに進行中です。(牛久光次記)

## 今後のたもんじ交流農園スケジュール

たもんじ交流農園では毎週日曜日午前中を中心に何かしらの活動をしています。作業のお手伝い、お時間の取れる方、ちょっとだけでも結構ですので、出来る限りよろしくお願いいたします。

尚、農園部作業日は、毎週日曜 9:00～です。(1/1(日)はお休みです)

<p><b>12/24(日)</b> 9:00 ～12:00</p>	<p>■《ナチュラルガーデン》土入れ・レンガ積み ■たもんじ交流農園の大掃除・農園納め</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作業終了後にたもんじ交流農園の今年の納会(完成式?)農園でランチ会を行いますのでご参加ください。</li> <li>共用耕作地のジャガイモ、葉物野菜を皆で収穫して、調理して、「お鍋」を作ります。なんと、「餅つき」もやることになりました。お子様やお孫さんのご参加大歓迎です!</li> <li>飲み物は、各自ご持参お願いします!</li> <li>水車電力による枝垂れ桜へのイルミネーションも点灯予定</li> </ul>
<p><b>1/7(日)</b> 13:30 ～19:30</p>	<p>■農園初め 9:00～12:00 ■新春「隅田川七福神巡り」 13:30 鐘ヶ淵駅西口集合～たもんじ交流農園・多聞寺～御前裁畑跡地～白鬚神社～百花園～長命寺～興福寺～三廻神社～簡単な新年会～牛島神社・そよ風広場・リバーウォークの竹灯りのイルミネーション鑑賞、19:30 隅田公園辺りで解散予定、参加者を募集しています!希望者は、牛久、小川、ないし末林まで</p>
<p><b>1/14(日)</b> 9:00 ～日没</p>	<p>■《温床の温室》落葉を微生物の餌を与えながら踏み込んで、苗床になる温度を目指します。寺島なすはじめ夏野菜の苗を温室で育てます。 ■《ナチュラルガーデン》なんだかんだと楽しく、宿根草なども植えながら、かっこ良くなるまで続きます。</p>
<p>■《ピオトープ ほたるのすみか》かいぼり・池底砂利、石の撤去、井戸をもっと深く掘って水量確保を図る。先ずはその足場組み。</p>	
<p><b>1/21(日)</b> 9:00 ～12:00</p>	<p>■《ピオトープ ほたるのすみか》池底にベントナイト敷き込み 泥団子をつくり、並べて、しっかり叩き、防水層をつくる。井戸掘り続き。※練ったら一気にやらないといけないので人数必要です!多くの方のご協力をお願いしたいです。</p>
<p><b>1/28(日)</b> 9:00 ～12:00</p>	<p>■ここまでにはナチュラルガーデン・温室ともに良い感じになる? ■《ピオトープ ほたるのすみか》水入れして水が漏れないか試験します。結果を1週間待つ。まだ井戸掘る?、パイプ割れ修理のため、井戸の周囲を約1m掘る</p>
<p><b>2/4(日) 9:00 ～12:00</b></p>	<p>■《ピオトープ ほたるのすみか》水漏れなしを確認したら整えて、水入れして生き物を返す!～あとは時期みて新たなほたるの幼虫を入れて羽化を待つ→ほたる観賞会</p>

水口アドバイザーご指導日:12/24(日)、1/28(日) 10:00～15:00 | 農園部作業日:毎週日曜 9:00～



2020/1/12 七福神巡り



たもんじ交流農園便り  
No.69 般 2023.12.19 発行  
題字 田村風來門  
編集 末林和之



HomePage

てらたま協議会  
(NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)  
問い合わせ先 小川 剛(080-3421-3115)  
▲セブン-イレブン 記念財団(2018年 2020年に助成金を頂きました)



Facebook